

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぶらすイオン大宮校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 06日		~ 2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年12月6日		~ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・今何をしたら子どもたちの為になるのかを考えながら、共有し合い行動に移している。 ・朝礼や終礼で話し合いをしている。 ・毎日の朝礼と終礼を行い、職員同士で共有したことを次回に生かせるよう話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのその時の成長や必要なことを考え、職員同士で共有することを意識している。 ・朝礼などで取り組む活動について話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議だけでなく、レッスン中でも共有を沢山行っていき、その時その場で子どもたちにどんな支援が適しているのかを共有できるようにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・日々子どもの様子に合わせて内容を考えている。 ・常にどのような活動が良いか、固定化せずに活動を提供できるのかを考えられる職員が多い。 ・固定化しないよう、毎月テーマを決めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの支援になることを「楽しそう」と思える内容で提供できるように話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容について大宮校の職員だけでなく、他教室のアイデアも聞いたり、教えてもらったりしながら子どもたちが楽しく活動を行えるようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン室にむき出しの洗面台があると危険である場面もある為、自教室ではカバーをしている。（活発な子の利用が多いため。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン室で身体をよく動かす活動をするため、設置するものによっては危険箇所がどうしても出てしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所を立ち上げる際にレッスン室やドア・窓・個室などの設計をよく確認していただく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内に個別の部屋が設備されているわけではないが、職員が必要に応じて工夫し、場所を提供するように環境を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のサポートが必要になるお子様や、落ち着ける一人の場所を必要とするお子様に対して個別の大きな部屋を選択することができない時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は職員がマットやロビーなどの空間を使い、必要に応じて一人になれる空間を提供できるようにしている。 また、今後の開所する時にはカメラを設置した個室の設置を検討してもらう。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人は様々なアイデアと支援ができる方がいるが、それぞれ他の支援の方法を知りたいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・凝り固まった考えになってしまい、活動が固定化されてしまう可能性がある為。 	<ul style="list-style-type: none"> バリエーションが増えるような研修、講習を受けて、よりよい支援を行えるようにしていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ネイスぶらすイオン大宮校						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・広いスペースが確保されている	・小学生となると少し動くのには狭く感じてしまうため、活動内容によっては広さに気を付けるように声をかけている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・基本子どもと同じ人数に関わってはいませんが、子どもの状態に合わせて人数を減らしたり増やしたりしている。 ・基準に合うよう適切に配置されている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・死角があまりないような作りになっているので、子どもたちの事を見守りやすいようになっている。	・衝動性がある子には少し興味のある場所が多いので、物を倉庫に片付けたりするなど、対応を行っている。 ・騒音防止や個人情報漏洩防止の為、天井まで壁を付けられるように交渉をしている。 ・ドアの鍵がすぐに開いてしまうため、種類を変えるなどの検討をしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・必ず消毒は行っている。 ・壁紙が明るく、清潔感がある	・レッスン室にむき出しの洗面台があると危険である場面もある為、自教室ではカバーをしている。(活発な子の利用が多いため。)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・個室はないが、入り口のスペースで落ち着けるようにはなっている。 ・必要に応じて相談室やロビーが使えるようになっている。	・施設内に個別の部屋が設備されているわけではないが、職員が必要に応じて工夫し、場所を提供するように環境を作っている。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・今何をしたら子どもたちの為になるのかを考えながら、共有し合い行動に移している。 ・朝礼や終礼で話し合いをしている。 ・毎日の朝礼と終礼を行い、職員同士で共有したことを次回に生かせるよう話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		・今年設立の施設の為、保護者様向けの評価表が今年初めてである。 ・別店舗では設ける時間があるので、これから設けていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・常にどのような考えなのかを話し合うことが出来ている。 ・毎日話ができる環境にある ・支援の前後で支援のミーティングを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		・まだ行っていない
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・社内でも研修を行っている ・回数は少ないが必要な研修は実施されている	・もうけてくれている時もあるが、業務時間外に研修を受けざるを得ない場合もある。 ・機会は確保されているが少ない。 ・研修はあるが少ないと感じる部分もある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・職員全員で話し合いの機会を設けている ・全職員でミーティングを行い、課題や成長した点を話し合いしてから計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・どのような活動がそのクラスに合うのかを考え共有している。 ・全員で話し合い、検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・分からなくなる時には確認しながら行えている。 ・話し合い、共有する場がある ・全職員に共有し、支援後はHUGにて計画に対して振り替えを記録している	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・チェックリストも用いて確認している 必要と感じているお子様に対して何度か使用している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		・地域支援は行えていない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・話し合いながら考えることが出来ている。 ・朝礼で話し合っていて決めている ・毎月、運動と課題活動のテーマを決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・日々子どもの様子に合わせて内容を考えている。 ・子どもの状態により都度変えている ・常にどのような活動が良いか、固定化せずに活動を提供できるのかを考えられる職員が多い。 ・固定化しないよう、毎月テーマを決めている	・バリエーションが増えるような研修、講習を受けて、よりよい支援を行えるようにしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・お子様の状態に応じて個別のみ、個別＆集団を入れている	・ほぼ集団での支援である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・どのような対応すべきなのか話し合っていて日々考えている。 ・マンツーマン対応が必要な時は担当者を決めている。 ・ミーティング時に運動担当・課題担当者からテーマの話がある	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・終礼で振り返りと反省をおこなっている	・支援後にミーティングを行い、当日時間がなくできなかった時には翌日にミーティングを行っている ・放課後等デイサービスの後の時間は特に振り返りの時間が少ないため、翌日に共有を行うこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・各自記録を取り、共有している。 ・日報を作成している ・HUGにて記録をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6ヶ月以内に職員でミーティングを行い、その後に保護者と面談を行っている。内容に相違がないか確認をしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・レベル分けをしながら段階を踏んで行っている。 ・自分で選択できる物を用意している		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	4	・管理者が児発管が対応することが多い	・関係機関との会議に参加していない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4		・一部の関係機関（協力医療機関）とは連携しているが、一部機関とは連携できていない部分もある。 ・整っているが連携は少ない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	5	・学校との情報共有はなし。保護者から確認をしている	・学校の様子が気になるため知っていききたいと思っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		・2024年5月から開所したため、情報共有はなし ・今後は必要に応じて情報を共有していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	・診断書の確認等のみおこなっている	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・機会がない		

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時にはたくさん話せる時間を設けている。 ・支援後、フィードバックなど話す場を設けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・自施設で研修の機会はないが、地域で研修の機会の情報が入れば、チラシなどで提供を行っている	・研修の機会は設けられていないが、チラシや掲示物で支援を行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・提示しながら説明を行っている ・契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・支援計画を立てる前に面談をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・保護者に説明をし、同意を得てからサインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・必要な時に返答をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5		・交流の機会や会は開いていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・アプリで日々の記録・情報。SNSで活動内容の発信。 ・インフォメーションボードやHUGの記録にて必要な情報を入力している	・通知に気が付きづらいため、必ず見れるようなシステムがあると良い。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・名前のあるものは棚にしまっていたり、外の掲示には名前が載らないようにしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・決まった月に避難訓練をしている	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・定期的に確認をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・契約時に伺い、職員間で共有している ・契約時にフェイスシートにて記載していただき、聞き取りもやっている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・契約時に伺い、職員間で共有している ・アレルギーの子はいないが、対応している。	・アレルギーのある児童がいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全に支援が行えるよう研修や対策を行っているが、けがや事故のヒヤリハットの報告があるたびに再度環境の安全管理や環境設定などの見直しをしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・周知できている ・避難訓練の際は保護者の方に周知している。 ・ケガに繋がりそうな行動に関しての一時的な静止に関しては保護者の方に説明をしている。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・カメラを見て確認し、改善策をすぐに模索している。		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・会社で研修をおこなった	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		